

平城高校の生徒のみなさんへ (② 英語の自学自習のスキルアップの方法とは?)

皆さんその後お元気ですか。在宅教育期間が5月末日まで延長されたわけですが、依然として新型コロナウイルス感染症 (covid-19) の感染拡大の影響で不自由な生活を強いられていることと思います。

さて今回は、こんな機会に自らの高校時代の経験から英語の自学自習によるスキルアップの方法の例をほんの少し紹介させていただきたく思います。

皆さんには「これからの時代に英語のスキルは必要ですよ。」こんなお話を2年前に全校集会で南極のお話と共にしました。「今、英語で会話のできる人は世界の人口の77億人のうち20億人弱程度居ると言われています。つまり世界の4人に1人以上の方と英語を通してコミュニケーションができるということになります。」と述べました。

将来、みなさんは、どのような仕事を通して社会に貢献できるのかをお考えだと思いますが、これからはいかなる仕事に就かれても「社会人基礎力」が要求されます。

経済産業省が提唱している「社会人基礎力」とは「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」と定義されていて「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力から構成されるとされています。さらにグローバル化が進む今後の職場では「チームで働く力」のうち英語力もツールとして今迄以上に必要になってくることが考えられます。

さて、私は英語の教員ではありませんが、NHK 英語講座はもっともおすすめの英語学習のひとつです。高校時代、ESS部では確か安田一郎先生の「NHK ラジオ英会話」がテキストになっていてみんなで車座になって音読やロールプレイの練習をしていた記憶があります。当時はALTの方もおられない状況でしたの



International Science School 2007 in Sydney Univ.

で奈良公園に来られる外国人の方に話しかけることしか「実践的な英会話の練習の機会」はありませんでした。

現在も NHK 英語講座はラジオ、テレビで放送され多数の講座があります。内容も充実しているのはもちろん、講師も豪華な顔ぶれで英語初心者からビジネスで英語を使う方で様々なレベルに対応しています。2020 年度版 NHK ラジオの語学講座「11 講座」と、新講座を含めた NHK テレビ「3 講座」があり、高校生の皆さんには「ラジオ英会話」と「エンジョイシンプルイングリッシュ」がおすすめでしょう。また時事英語を学びたい人は「高校生からはじめる現代英語」がおすすめです。この講座は実際に海外で報道されたニュースをひとつ取り上げ、その内容の解説はもちろん、ニュースで出てきた表現を使って英語学習をしていきます。ラジオの中で取り上げられるニュースは、日本人に分かりやすいもので、高校で学ぶ知識で十分理解できるものが取り上げられています。英語のニュ

ースを聞いたり、英字新聞を読んだりすることにも役立つ講座です。文系の方で時事英語をさらに極めたい方には茅ヶ崎方式英語会 (<http://chigasakischool.com/books/basic/>) もおすすめです。PDFでテキストを無料でダウンロードでき、試読できますし、気に入れば図書やCDを購入できます。(ちなみに私も、このシリーズのテキストを所有しています。) さらに「The Japan Times」(<https://www.japantimes.co.jp/>)などの英字新聞や「Time Magazine」(<https://time.com/>)等の記事が少し読める頃になればSTEP Pre-1 やTOEIC 760程度のスコアを取得しておられることでしょう。

かつて2007と2011年にシドニー大学のInternational Science Schoolに日本の代表の高校生を引率したことがあります。その時に自分の英語力の不足を感じて、日々の研鑽の必要性を認識しました。皆さんも一度以下のサイトで講義の内容をご覧ください。

(<https://www.youtube.com/user/TheSydneyISS>) (The Poles & The Planet: International Polar Year 2007-08 — Dr Rhian Salmon の講義は大変面白いと思います。)

自学自習により英語力を高めることは3000m級の山に登ることに似ています。「あせらず、たゆまず、コツコツと千里の道も一歩から」毎日15分か20分をリラックスして英語を聞くことに取り組んでください。日々の習慣になってゆけばきっと定着してゆくはずで

す。必ずやある日、ふと振り返ると自分の登ってきた道と、到達した「高み」に気づくはず

です。では、また平城高校に君たちの元気で明るい笑顔が戻ってくる日を楽しみにしています。



南極 フルマカモメ

令和2年4月24日
校長 森田好博